

出張報告届

令和5年2月17日

吹田市議会議長様

会派名 党派はなし

代表者氏名

出張者氏名 斎藤晃.....

.....
.....
.....
.....
.....

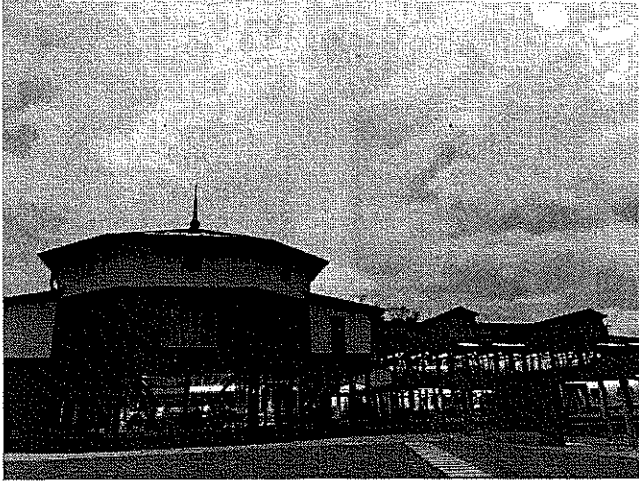
下記のとおり出張したので届け出ます。

記

出張先	京都府京丹波町蒲生蒲生野487-1 京丹波町役場
期間	令和5年2月16日から2月16日まで 1日間
出張の成果	地元製材を活用し建設された木造新庁舎の見学 詳細は次項参照
備考	目的：調査見学



■京丹波町役場新庁舎（2021年）



京丹波町役場新庁舎（2021年）

所在地＝京都府京丹波町蒲生蒲生野 487-1

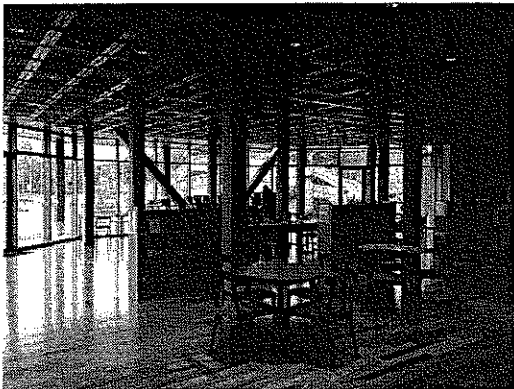
階数＝地上 2 階

延べ面積＝4912.41m²

工事費 24 億 5 千万円 165 万円／坪

設計 香山壽夫建築研究所

外観、左の八角形の 2 階が議場



交流ラウンジ



ホールと執務スペース



議場、他に委員会室 1 室、議員控え室はなし

木造 2 階建ての本庁舎である、燃えしろ設計とスプリンクラーの設置などにより、製材の柱梁の現し（露出）を可能として、「木」を大々的に感じる明るく見通しの良い空間を実現している。

材木は町内産を町内の製材所で加工し賄ったということで、森林資源を持て余す多くの自治体にとってのモデルケースであると視察が絶えない模様である。

実際に内部を案内していただくと、明らかな杉檜の木の香を感じ、BGM は静かにジャズが流れ、高原のリゾート施設に居るかのようであった。

全体の延床面積は 1500 坪と小ぶりではあるが、やはり議場や大会議室の占める割合が大きく、イベントなどの市民の多様な用途での活用が課題である。交流ラウンジにも多くのスペースが割かれており、多くの町民や来町者が集い活用を実現するためにはソフト面の工夫が必要であると感じた。また、閉会時の議場等の活用は吹田市でも課題である。

最後に、建物は防災拠点建築物に求められる十分な機能継続が可能な 1 類を確保しており、木造であっても十分な安全性が期待出来る事例である。